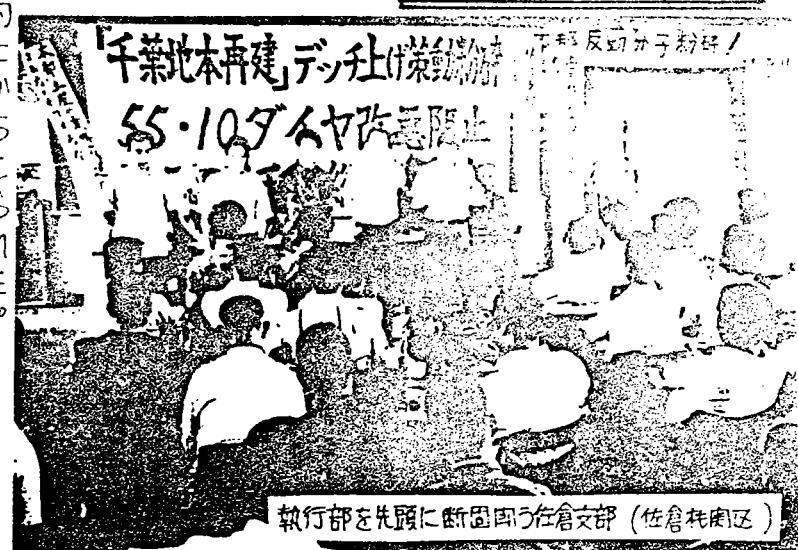


日刊 動力千葉

80.7.7
No.475

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五~六・(公衆)二二七二〇七



七月五日「本部」反動分子による二度目の悲劇に終った。沼・佐倉での四〇〇名の怒りの発洩起の前に大きく崩れ去り完全に粉碎された。当該に反動され「本部」反動分子が策動した六・二八、七・五の二度にわたる策動は「一度は悲劇、二度目は喜劇」に終った。

堂々と講習室において総決起集会

津田沼支部

前夜からの竜城体制で決起した津田沼支部はじめ電車関係支部からの動員者を含め四〇〇名が電車区講習室をうめ尽し、かけつけた反対同盟・支援共同と共に、七・五「再建」デッキ上げ策動粉碎、55.10.

ダイヤ改悪阻止総決起集会は開始された。

島田ら反動裏切り分子がデッキ上げに使用する予定にしていた講習室は、めが動労千葉の手によって、まさに「再建」策動を二度にわたって粉碎した勝利の確認をかみさめしい集会として圧倒的な成功をかちとった。集会後、青年部を先頭に講習室を行ひ、折から津田沼駅頭→三信ビル斜弾テモを貫徹した支援共同の隊列との連帯の意志を確認し、更に更に大きく長朗に燃り強く叫いぬくことを意

気高く確認した。

全組合員のみなさん。

いまや「津田沼特別班」となるものは革面を走り渡す一にて、「本部」の実態であり

「再建」策動の本質である。めが総決起の前に次々と崩れ去る反動分子に対し、更に

攻撃の手を緩めることなくつき進もう! 動労千葉の正義の路線と団結の前に勝利は鮮明である。

向いはまさにこれからである。全組合

に、佐倉支部はじめ桜井区支部からの動員者四〇〇名の結集をもって叫いとらねた総決起集会は、まさに七八年「三・一ズ

碎してゆこう。



佐倉支部

燃え上がる熱気、桜井区をつづみこむ

土屋幹ら
極少の裏切

り分子への糾弾、「再建」策動粉碎のために、佐倉支部はじめ桜井区支部からの動員者四〇〇名の結集をもって叫いとられた総決起集会は、まさに七八年「三・一ズ

碎してゆこう。

三里塚・ジェット闘争貫徹! 「国鉄35万人体制」粉碎!

7.5「再建」アッキ上げ策動を再び粉碎! 一度は悲劇、二度目は喜劇…

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!